

カラービデオ受像機

品番 WV-CM146

取扱説明書
(工事説明付き)

この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保存し、必要なときにお読みください。保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。



上手に使って上手に節電

保証書別添

このたびは、パナソニック カラービデオ受像機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

目次



安全上のご注意	必ずお守りください	2~6
取扱説明		
特長		7
各部の名前と働き		8~11
操作のしかた		12~16
設定のしかた		17~24
別売品のご紹介		25
故障と思われましたら		25
工事説明		
接続の前に		26
接続のしかた		26~30
システム接続例		31
定格		32
アフターサービスについて		裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください




お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告

工事は販売店に
依頼する



技術と経験が必要です。感電の原因となります。

異常なときは、すぐに
使用をやめる



煙が出る、臭いがする、水や異物が入った、落として破損したときは火災や感電の原因となります。

ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

電源コードは、必ず
プラグ本体を持って抜く



電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因となります。

分解しない、
改造しない



内部に高電圧の部分があります。感電の原因となります。

分解禁止

ヒューズの交換、修理や点検は販売店に相談ください。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、重いものをのせたり、たばねたりしない)



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

禁止

コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

警告

電源プラグは根本まで差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる



プラグなどにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

長時間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない



禁止

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

後面パネルを外さない



高圧注意

内部に高電圧の部分があります。触ると感電の原因となります。

内部の修理や点検は販売店にご相談ください。

重量に耐える場所に取り付ける



禁止

落下や転倒などで、けがの原因となります。

取付場所を補強してください。

水を入れない、漏らさない



禁止

火災や感電の原因となります。

水などが内部に入ったら、電源プラグを抜き、販売店にご相談ください。

上や近くに水の入った物を置かない



禁止

こぼれた水が機器内に入ると、火災や感電の原因となります。

すぐに電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

濡れた手で、電源プラグの抜き差しはしない



禁止

感電の原因となります。

乾いた布で、手を拭いてください。

異物を入れない



禁止

火災や感電の原因となります。

異物などが内部に入ったら電源プラグを抜き、販売店にご相談ください。

⚠ 注意

10度以上の傾斜のある
場所には設置しない



落下などで、けがの原因となります。

禁止

傾斜のある場所に設置する
ときは、滑りどめをする



落下などで、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い
場所に設置しない



火災や感電の原因となります。

禁止

放熱口をふさがない



内部に熱がこもり、火災の原因となります。

禁止

落とさない、強い衝撃
を与えない



けがや火災の原因となります。

禁止

販売店にご連絡ください。

可燃性雰囲気中で
使用しない



爆発し、けがの原因となります。

禁止

踏み台や腰掛けに
しない



けがの原因となります。

禁止

持ち運ぶときはコード
類をすべて抜く



コード類に足をかけ、転倒・けがの原因となります。

お手入れのときは
電源を切る



感電の原因となります。

設置場所について

⚠ 警告、⚠ 注意に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

- 直射日光の当たる場所や、熱器具の近く、温風の吹き出し口に設置しないでください。
- 周囲温度は、-10 ~ +50、湿度は90%以下でお使いください。
- 車載用など振動の激しい場所には、設置しないでください。
- 本機を近接して設置する場合、15 cm以上離してください。相互に干渉しあい、画面に縞が入ることを防ぐためです。
- 収納台や棚におく場合、後面のコネクターやケーブルに無理な力がかからないように奥行きを十分とってください。また、上面、側面を壁面から5 cm以上離してください。
- 本機を上下に重ねて置かないでください。
- 本機はラックマウントできません。

配線のしかたについて

- 使用するケーブルの太さと長さを確認してください。
同軸ケーブルの最大距離は5C-2Vで500 m、3C-2Vで200 mです。これを超えると映像が乱れたり、雑音が入ったりします。
- 強度上の問題で、3C-2Vの同軸ケーブルを配管配線や、空中配線に使用しないでください。断線する恐れがあります。
- 以下に示すような場所に設置(配線)すると映像が曲がったり、雑音が入ったりすることがあります。
 - ① 電灯線に近づけて配線している。このような場合、配線の位置や本機の位置を変更してください。
 - ② テレビやラジオの送信アンテナ、モーターやトランスなどの近くで使用している(強い電界・磁界の近くで使用している)。このような場所ではカメラケーブルを専用の薄鋼電線管にケーブルを通して設置してください。2台以上のビデオ受像機をお使いのときはビデオ受像機ごとに薄鋼電線管を設けてください。

静電気について

ブラウン管の表面に手を触れると、ごく弱い電気を感じる場合があります。これは、静電気を帯びているためです。異常ではありません。

お手入れについて

お願い

- お手入れは、安全のため差し込みプラグをコンセントから抜いて、行ってください。感電の原因となることがあります。
- ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけたり、使用したりしないでください。ケースが変形したり、変色したりすることがあります。

日常のお手入れ

- 乾いた布で拭いてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

汚れがひどいとき

- うすめた台所用洗剤をやわらかい布にしみこませ、よくしぼり、軽く拭いてください。そのあと、乾拭きしてください。

調整つまみについて

以下に示す調整つまみは、あらかじめ工場出荷時に調整されています。
調整が必要な場合は、販売店にご相談ください。

前面パネル内

垂直同期ボリューム
色合い微調整ボリューム
色の濃さ微調整ボリューム
明るさ微調整ボリューム
コントラスト微調整ボリューム

後面

フォーカスコントロール

特長

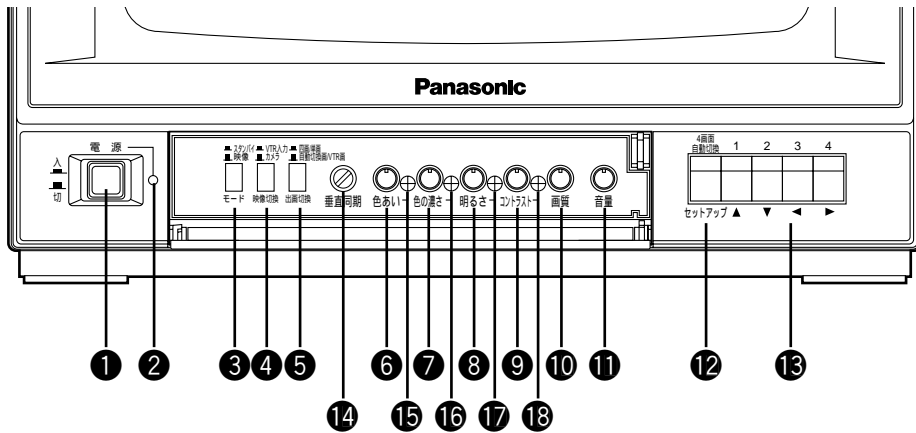
本機は、カラーテルックカメラ用の14形カラービデオ受像器です。カメラを4台まで接続できます。後面のカメラ電源スイッチを「切」にすると、カメラ入力1に、当社カラーシステムカメラ〔多重VD(VD2)同期付き〕を接続することもできます。

- 〔出画切換〕スイッチを押すことによって4台のカメラ映像を1台のモニターに同時に表示できます(画面を4分割して表示(4画面と呼びます)できます)。
- 各テレビカメラの画像を手動または自動で切換えることができます(設定メニューでフレーム単位または約1秒～約30秒までの間で選択可能)。
- タイムラプスVTRに4台のカメラ映像を録画できます(フレーム単位で順次入力映像を切換えて録画できます)。
- タイムラプスVTRに録画されたカメラ映像を4画面で表示したり、特定のチャンネルを選択して1画面で表示したりできます。
- インターホンやセンサーからの信号で画面を切換えることができます。
- 入力されたアラームに対応するカメラ映像を優先して録画できます(フレーム切換えで録画)。
- カメラに異常が発生したとき、アラームを鳴らすとともに異常が発生したカメラのチャンネル番号をモニタに表示します。
- センサー入力後、約60秒で自動切換モードに自動復帰します(設定メニューの自動復帰「入」状態のとき)。
- VTRと接続でき、ビデオモニターとして使用できます。
- 映像スタンバイ機能により、画像を消しておくこともできます。
- 接続されていないカメラをスキップ(飛びこし)するオートスキップ回路が内蔵されています。
- 増設用モニター出力端子を使い、他のビデオ受像器(WV-CM146)に映像を4画面表示できます。
- マイクロホン付カメラを接続することにより、カメラ付近の音を聞くことができます。
- 設定メニュー(オンスクリーン)で以下の項目を設定できます。

- | | |
|---------------|----------------------------|
| ・カメラIDの表示/非表示 | ・アラーム録画モードの選択 |
| ・カメラIDの設定 | ・アラーム音の入り/切りとアラーム信号出力時間の選択 |
| ・音声切換の選択 | ・自動復帰の入り/切り |
| ・切換タイミングの選択 | ・チャンネル別低輝度補償の設定 |
| ・自動切換時間の選択 | |

各部の名前と働き

前面



①電源スイッチ (切■/入■)

②電源表示 [電源] (赤色)

電源スイッチを「入」にすると赤色に点灯します。

③モードスイッチ [スタンバイ■、映像■]

スタンバイ：4画面表示または自動切換え表示時に画面を消しておくことができます。カメラ選択スイッチを押すと、選択したカメラ映像を表示できます。〔4画面/自動切換〕スイッチ⑫を押して、画面を消すことができます。

映像：常時画面に映像を表示します。

④映像切替スイッチ [VTR入力■、カメラ■]

VTR入力：画面に後面の〔映像入力〕端子に入力した映像(VTR映像など)を表示できます。

カメラ：画面にカメラ映像を表示します。

⑤出画切替スイッチ

〔四画/単画■、自動切替/VTR画■〕

四画/単画■：〔4画面/自動切換〕スイッチ⑫で四画面表示に、〔カメラ選択〕スイッチ⑬で一画面に切替えることができます。

自動切替画/VTR画■：〔映像切替〕スイッチ④が〔カメラ〕の場合、カメラ映像が自動的に切り換わる「自動切替(シーケンス)画」で見ることができます。〔カメラ選択〕スイッチで希望する映像を一画面に切替えることもできます。〔映像切替〕スイッチ④が〔VTR〕の場合、VTRの再生画を見ることができます。

⑥色あい調整ボリューム [色あい]

肌色が紫色になるときは時計方向へ、肌色が緑色になるときは反時計方向へ回し、自然な色調が得られるように調整します。

⑦色の濃さ調節ボリューム [色の濃さ]

色がうすいときは時計方向へ、色が濃すぎる場合は反時計方向へ回し、自然な色調が得られるように調整します。

⑧明るさ調整ボリューム [明るさ]

画像が明るかったり暗かったりしたときに調節します。

⑨コントラスト調整ボリューム [コントラスト]

画像の明暗比を調整します。

⑩画質調整ボリューム [画質]

時計方向に回すとシャープな画質に、反時計方向に回すとソフトな画質になります。

⑪音量調整ボリューム [音量]

時計方向に回すと音が大きくなります。適度な音量でお聞きください。

⑫4画面/自動切替/セットアップスイッチ [4画面/自動切替/セットアップ]

- 画面を4画面で表示します。
- 画面を自動切替(シーケンス切替)で表示できます。
- このスイッチを2秒以上押しつづけると設定メニューが表示されます。(17ページ)
(映像切替スイッチがカメラのとき)

⑬カメラ選択 / 方向スイッチ〔1/、2/、3/、4/〕

- 手動でカメラを選択するときに使います。
各番号（チャンネル）は後面の〔カメラ入力〕端子と対応しています。
- 設定メニューを表示したとき、設定項目を選択するときに使います。

⑭垂直同期ボリューム〔垂直同期〕

垂直同期調整用のボリュームです。調整方法は、25ページの「故障と思われましたら」をお読みください。

⑮色あい微調整ボリューム

⑯色の濃さ微調整ボリューム

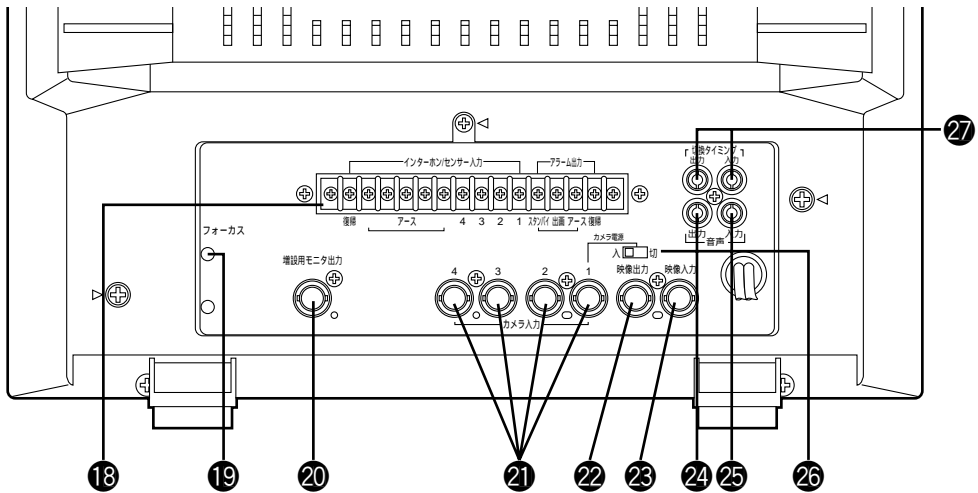
⑰明るさ微調整ボリューム

⑱コントラスト微調整ボリューム

⑭～⑱は出荷時にあらかじめ調整されています。
調整が必要なときは販売店にご相談ください。

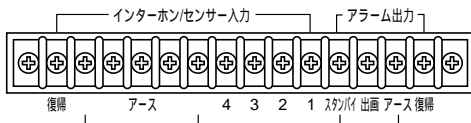
各部の名前と働き

後面



⑱外部制御接続端子〔インターホン／センサー入力、アラーム出力〕

接続のしかたについては26～30ページをお読みください。



●インターホン／センサー入力

この端子を使って画面に表示するカメラを選択できます。1、2、3、4のいずれかをアースと短絡すればカメラを選択できます。

●アラーム出力

〔インターホン／センサー〕入力端子でカメラを選択したときにアラーム信号（メイク接点）を外部機器に出力します。

(a)スタンバイ

映像スタンバイ時にだけアラーム信号を出力します。

(b)スタンバイ/出画

〔モード〕スイッチの位置にかかわらずアラーム信号が出ます。

●復帰（アラーム出力側）

タイムラプスVTRに復帰信号を出力し、アラーム状態を解除します。

●復帰（インターホン／センサー入力側）

タイムラプスVTRなどからの復帰信号により自動切換に戻ります。

⑲フォーカスコントロール〔フォーカス〕

画面の焦点が合っていないときに調整します。工場出荷時に調整されています。調整が必要なときは販売店にご相談ください。

⑳増設モニタ出力端子〔増設用モニタ出力〕

画面の映像と同じ映像を他の専用モニター（WV-CM146）で見たいときに接続します。四画面、自動切換、手動切換の映像が画面に合わせて出力されます。

㉑カメラ入力端子〔カメラ入力1、2、3、4〕

テレビカメラの入力端子です。カメラからの映像を入力するとともにカメラへ電源を供給します。〔カメラ入力1〕はカメラ電源スイッチで電源供給を〔切〕にすることもできます。

重要

カメラ入力1には、専用カラーテルックカメラまたは、カラーシステムカメラ〔多重VD(VD2)同期付き〕を接続できます（25ページ）。カラーシステムカメラを接続するときは、カメラ電源スイッチ⑳を「切」にしてから接続してください。カメラ入力2～3に専用カラーテルックカメラ以外のカメラを接続しても正常に動作しません。

㉒映像出力端子〔映像出力〕

この端子にVTRを接続すれば、入力された映像を録画できます。モードスイッチの状態に関係なく映像が出力されます。

㉓映像入力端子〔映像入力〕

VTRからの映像を入力し、画面に表示するときに使います。

VTRの映像出力を接続し、前面の〔映像切換〕スイッチ④を〔VTR入力〕の位置にするとVTR再生画像が見られます。

㉔音声出力端子〔音声出力〕

マイクロホン付きのカメラの音をVTRに録音するときに接続します。

㉕音声入力端子〔音声入力〕

VTRに録音されている音声を聞くときに使います。

VTRの音声出力を接続し、前面の〔映像切換〕スイッチ④を〔VTR入力〕の位置にすると、VTR再生音声を聞くことができます。

㉖カメラ電源スイッチ〔カメラ電源〕

重要

必ずカメラ電源スイッチを設定してからカメラを接続してください。カメラを接続してから、このスイッチを操作すると故障の原因となります。

カメラ入力1に接続したカメラに電源を供給する〔入〕または供給しない〔切〕を選択します。

〔入〕：専用カラーテルックカメラを接続する

〔切〕：カラーシステムカメラ〔多重VD (VD2) 同期付き〕を接続する

㉗切換タイミング 入力/出力端子

〔タイミング入力/出力〕

- タイムラプスVTRと組み合わせて使うときに接続します。
- 〔切換タイミング出力〕端子には〔切換タイミング入力〕端子に入力した信号が出力されます。

操作のしかた

電源の操作

電源の入れかた

全ての接続が完了したら電源プラグをコンセントに差し込みます。

必ずAC 100 V (50/60Hz)の電源に接続してください。

電源スイッチを押し[入■]にします。

電源表示灯が点灯します。

電源を入れてから約1分間は「VD2 SET UP」という文字が表示され、正常に映像が表示されないことがあります(カメラの設定を行っています)。故障ではありません。

電源を切るときは再度電源スイッチを押し[切■]にしてください。

カメラ映像の確認

[映像切換]スイッチや[出画切換]スイッチなどを操作して表示方法を状況に応じて切り換えて確認することができます。

画面の表示方法によって確認できる音声が異なります。各スイッチと音声の関係は下表のとおりです。

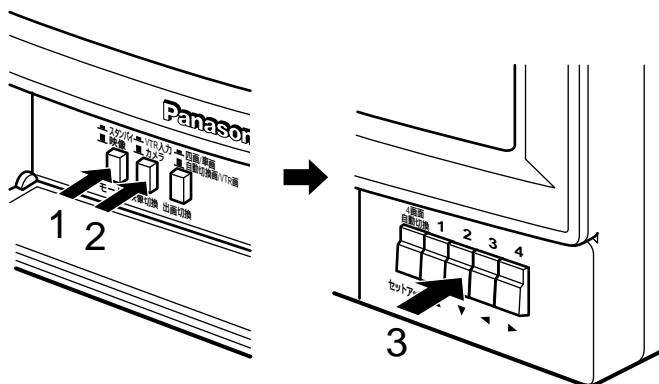
〔映像切換〕 スイッチ		〔出画切換〕 スイッチ	四画 / 単画		自動切換 / VTR画	
			4画面 / 自動切換	カメラ選択スイ ッチによる選択	4画面 / 自動切換	カメラ選択スイ ッチによる選択
表示映像			4画面表示	単画面表示	自動切換	単画面表示
音声出力 ²	SEQ ¹		自動切換	選択したチャン ネルの音声	自動切換	選択したチャン ネルの音声
	固定(1~4) ¹		セットアップメニュー“AUDIO SELECT”で選択したチャンネルの音声を出力			

1 セットアップメニューの“AUDIO SELECT”での設定内容。

2 アラーム入力時はアラームが入力されたチャンネルの音声を出力します。

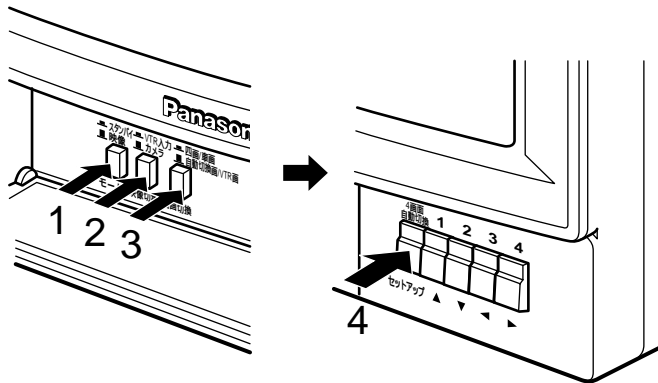
カメラを選択して見るとき

1. 〔モード切換〕スイッチを〔映像■〕にします。
2. 〔映像切換〕スイッチを〔カメラ■〕にします。
3. 〔カメラ選択〕スイッチ(1~4いずれか)を押します。



4画面で見るとき

1. [モード切換]スイッチを[映像]にします。
2. [映像切換]スイッチを[カメラ]にします。
3. [出画切換]スイッチを[四画/単画]にします。
4. [4画面]スイッチを押します。

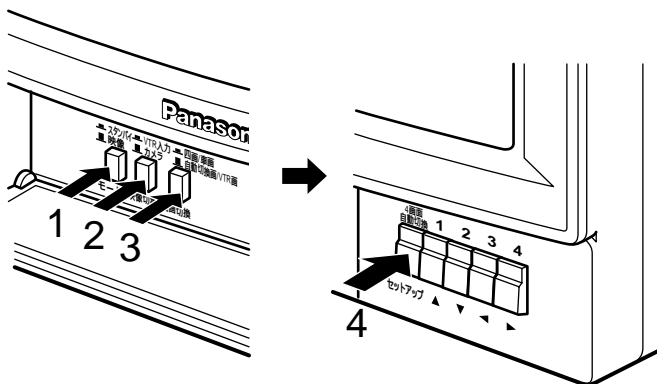


スキップ機能

- 後面の[カメラ入力]端子にカメラが接続されていないチャンネルは、黒映像になります。

自動切換[シーケンス切換]で見るとき

1. [モード切換]スイッチを[映像]にします。
2. [映像切換]スイッチを[カメラ]にします。
3. [出画切換]スイッチを[自動切換/VTR画]にします。
4. [自動切換]スイッチを押します。

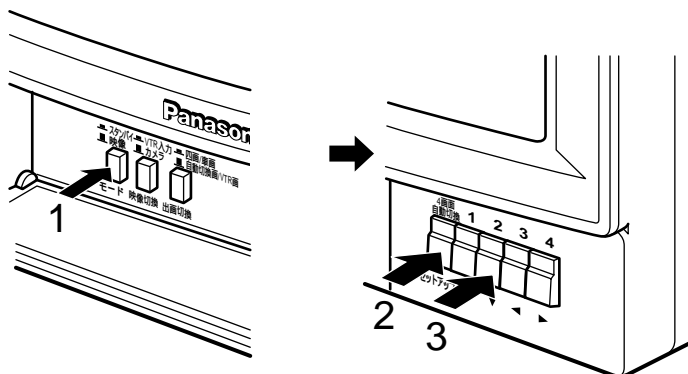


スキップ機能

- 後面の[カメラ入力]端子にカメラが接続されていないチャンネルは自動的にスキップします(四画面時と異なり、黒映像も表示されません)。

画面を出さないでおり、必要なときにすぐ見たいとき(スタンバイ機能)

1. [モード切換]スイッチを[スタンバイ]にします。
画面が消えます。
2. [自動切換]スイッチを押します。
3. カメラ画像を見たいときは[カメラ選択]スイッチを押してください。



もう一度画面を消すときは、[自動切換]スイッチを押してください。

スタンバイ機能

- VTRへの録画をしながら節電のため画面を消しておくことができます。

操作のしかた

VTRの再生と録画

VTRの再生画を見るとき

本機からの映像を録画したテープだけ四画面または単画面を選択できます。その他の機器で録画したテープを再生しても、四画面または単画面表示できません。

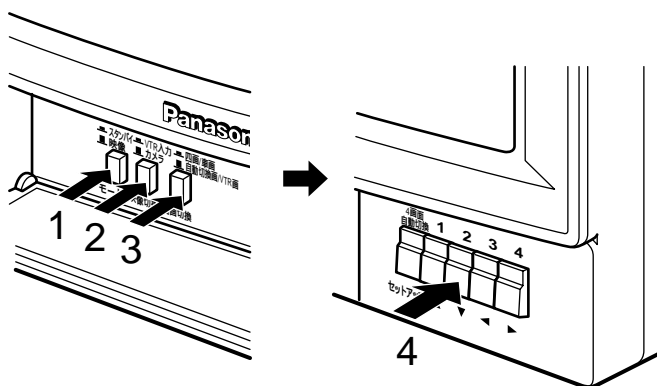
VTRの映像は〔出画切換〕スイッチと〔映像切換〕スイッチを操作してビデオ受像機に表示します。各スイッチと表示映像の関係は下表のとおりです。〔モード切換〕スイッチは〔映像■〕にしてください。

〔映像切換〕 スイッチ		〔出画切換〕 スイッチ	四画 / 単画		自動切換 / VTR画	
			4画面 / 自動切換	カメラ選択スイ ッチによる選択	4画面 / 自動切換	カメラ選択スイ ッチによる選択
VTR入力	表示映像		4画面表示	単画面表示	VTR再生画の映像を表示	
	音声出力		〔音声入力〕端子に入力した音声を出力			

〔映像入力〕端子に入力した映像を表示。

単画面（特定のチャンネル）だけ表示する。

1. 〔モード切換〕スイッチを〔映像■〕にします。
2. 〔映像切換〕スイッチを〔VTR入力■〕にします。
3. 〔出画切換〕スイッチを〔四画 / 単画■〕にします。
4. 〔カメラ選択〕スイッチ（1～4いずれか）を押します。

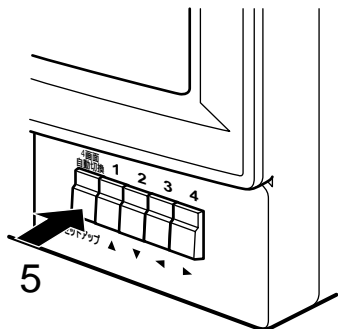


操作のしかた

四画面で再生画を見るとき

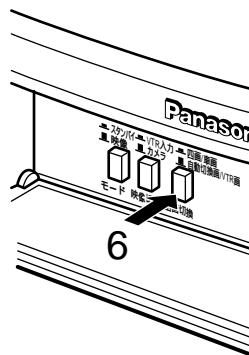
引き続き、次の操作を行ってください。

5. [4画面] スイッチを押します。



VTRの早送り / 巻戻し / 一時停止等で再生画を見るとき

6. [出画切換] スイッチを [自動切換 / VTR画] にします。



重要

- 本機ではVTRの逆再生映像を正常に表示することはできません。
- VTRの再生モードによっては各再生画面の上部で水平方向に映像が引かれること(スキュー)があります(故障ではありません)。
- VTRの再生時に横方向に線が走り上下の映像がずれることがあります(故障ではありません)。
- 再生時に映像またはタイトルが上下に揺れることがあります(故障ではありません)。
- VTRのヘッドの状態などにより、別々のチャンネルの映像が見えることがあります。頻繁に発生するときはVTRのトラッキング及びスロートラッキングを調整してください。現象が軽減します。
- 四画面再生時は画面を縮小しているため、テープに記録されている文字が読みにくくなります。文字を確認するときは、一画面表示にしてください。
- 録画モードにかかわらず、リニアモードで(L12H,L18H,L24H)で再生すると画面にノイズが入ったり、他のチャンネルの映像が入ったりすることがあります。通常(2H / 6H)やタイムラプスモードで再生してください。
- 録画時のモードによっては、映像の切換えが速すぎて音声が聞き取りにくいことがあります。

操作のしかた

VTRへ録画するとき

録画を開始する前に28ページの内容を参考にして、接続のしかたとVTRの設定内容を確認してください。

重要

- 音声を録音する場合、VTRの録画モードを「通常モード（2Hまたは6H）」または「リニアスローモード（L12H, L18HまたはL24H）」に設定してください。「タイムラプスモード」で録画すると、音声を正しく録音できません。
- カメラ設定メニューの"AUDIO SELECT"を"SEQ"に設定した場合、録画される映像のチャンネルと音声のチャンネルとは一致していません。録画したテープを確認するとき注意してください（チャンネル1の映像を表示していてもチャンネル1の音声を出力しているとは限りません）。

「タイムラプス」または「リニアスローモード（L12H, L18HまたはL24H）」で録画する場合

1. 〔切換タイミング入力〕端子にタイムラプスVTRからのカメラ切換え信号を必ず入力してください。（接続のしかた➡28ページ）
2. 設定メニューの“TIMING SELECT”を〔EXT〕に設定します。（➡21ページ）
3. VTRを「タイムラプス」または「リニアスローモード」に設定し、録画を開始します。
録画するカメラ（映像）はVTRからのカメラ切換え信号で自動的に順次切り替わります。したがって手で録画するカメラを選択する必要はありません。

VTR停止中または再生中はタイムラプスVTRからカメラ切換え信号は出力されません。このとき、〔映像出力〕端子からは本機の内部タイミングによりフレーム単位で切り換えられた映像信号が出力されます。

「通常モード（2H/6H）」で録画する場合

1. 設定メニューの“TIMING SELECT”を〔INT〕に設定します。（➡21ページ）
2. VTRを「通常モード（2H/6H）」に設定し、録画を開始します。

〔映像出力〕端子には、本機の内部タイミングによりフレーム単位に切り換えられた映像信号が出力されます。

アラーム時の録画

設定メニューの“ALARM REC MODE”でアラーム入力時の録画モードを選択できます。

録画モードと動作の関係は以下のとおりです。

〔FRAME〕選択時：アラームが入力されたチャンネルを優先して録画します。録画映像はフレームごとに切り換えられます。

〔SPOT〕選択時：アラームが解除されるまで、アラームが入力されたチャンネル映像が録画されます。

設定のしかた

設定メニュー画面

設定の前に

- カメラや接続する機器、アラームなどの接続を確かめてください(26~31ページをご覧ください)、カメラを接続していないと設定メニューは表示できません。
- 本機および接続する機器の電源を入れてください。

アラーム入力時の動作モードの選択

⇒22ページ

アラーム入力時の録画方法を選択できます。

アラーム時間、ブザー音 ON/OFFの選択

⇒23ページ

アラーム入力時、本機内蔵のブザーを「鳴らす」または「鳴らさない」を選択できます。また、ブザーを鳴らし続ける時間(「アラーム出力」端子からアラーム信号を出力する時間)も設定できます。

自動復帰の入り/切りの設定

⇒23ページ

本機にアラーム信号が入力されたとき自動的にアラーム信号入力前の状態に復帰するかどうかを選択できます。

設定メニュー終了

⇒19ページ

カーソルを移動し、「セットアップ」スイッチを押すと設定メニューを終了し、映像画面に戻ります。

設定内容を変更するかしないかの選択

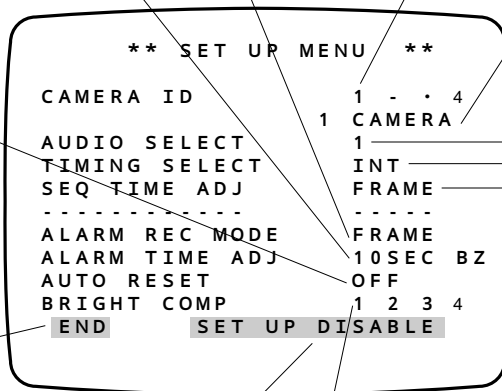
⇒19ページ

DISABLE : 設定不可能

ENABLE : 設定可能

重要

DISABLE (設定不可能) が表示されているときは、設定内容を変更できません。これは、誤操作によって設定内容を更新されるのを防ぐためです。



カメラIDの表示 / 非表示

⇒20ページ

カメラIDを表示する/しないを選択できます。

カメラIDの設定

⇒20ページ

カタカナ・英字・数字で最大8文字のカメラIDを設定できます。

カメラ音声の選択

⇒21ページ

カメラ音声を確認及び録音するチャンネルを選択できます。

切換タイミングの選択

⇒21ページ

自動切換えで映像を確認するとき、映像を切換えるタイミングを選択でき

自動切換時間の選択

⇒22ページ

自動切換えで映像を確認するときのチャンネル切換え時間を設定できます。

チャンネル別低輝度補償の設定

⇒24ページ

自動切換時、チャンネルによって見やすい画面、見にくい画面があるとき、チャンネル別に低輝度部の輝度設定を変えることができます。

設定のしかた

設定手順

1. 工場出荷時の状態にリセットする

設定メニューに入る前に、必ず下記の手順に従って全ての項目を工場出荷時の設定に戻してください。

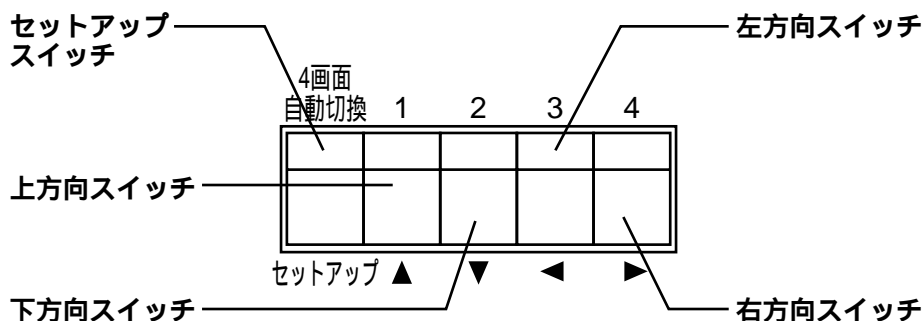
次のようにスイッチを設定し、設定メニューが表示されていないことを確認してください。

〔モード切換〕スイッチ：映像側

〔映像切換〕スイッチ：カメラ側

電源スイッチを「切」にしてください。

〔セットアップ〕スイッチと右方向スイッチ(▶)を同時に押しながら、電源スイッチを「入」にしてください。ブザーが鳴り、全ての項目を工場出荷時の設定にリセットできます。



2. 設定メニューに入る / 映像画面に戻る

- セットアップスイッチを2秒以上押し続けると、設定メニューがオンスクリーンで表示され、設定内容を確認できます。

設定メニュー

```
  ** SET UP MENU **  
  
CAMERA ID          1 . 3 4  
                   1 CAMERA1F  
AUDIO SELECT       SEQ  
TIMING SELECT      INT  
SEQ TIME ADJ       FRAME  
-----  
ALARM REC MODE     FRAME  
ALARM TIME ADJ     10SEC BZ  
AUTO RESET         OFF  
BRIGHT COMP        1 2 3 4  
END                SET UP DISABLE
```

カーソル(点滅)

3. 設定内容を変更する前に

上方向スイッチ()または下方向スイッチ()
でカーソルを"END"の行に移動します。

次に、右方向スイッチ(▶)または左方向スイッチ(◀)でカーソルを“ DISABLE ” (設定不可能)に移動します。

セットアップスイッチを押すと“ ENABLE ” (設定可能)の表示に変わり、設定内容を変更できるようになります。

4. 設定内容を変更するには

上方向スイッチ()または下方向スイッチ()
で変更したい項目にカーソルを移動します。

右(▶)または左方向(◀)スイッチを押して設定内容を変更します。設定項目によっては、[セットアップ]スイッチで切換える項目もあります。詳しくは各設定項目の設定手順をお読みください。

5. 設定作業を終了するには

設定作業を終了するには
方向スイッチを操作して"END"にカーソルを移動します。

[セットアップ]スイッチを押します。

セットアップを終了しカメラ映像画面に戻ります。

重要

データを更新してから“ END ” で終了するとデータがメモリー(EEPROM)に書き込まれます。書き込まれたデータは、電源を切っても、次にデータが書き込まれるまで保存されます。

設定のしかた

設定手順

カメラIDの表示と設定のしかた (CAMERA ID)

カメラIDを表示するには
カーソルを"CAMERA ID"の行に移動します。
右(▶)または左方向(◀)スイッチでカメラID
を表示したいチャンネル(1~4)にカーソルを
移動します。カメラを接続していないチャン
ネルは "-" で表示されます。

[セットアップ]スイッチを押します。
押す度に「カメラIDを表示する("1","2","3","4"
表示)」または「表示しない("●"表示)」を切
換えることができます。

```

** SET UP MENU **
CAMERA ID          1 2 3 4
                   1 CAMERA1F
AUDIO SELECT       1
TIMING SELECT      INT
SEQ TIME ADJ       FRAME
-----
ALARM REC MODE     FRAME
ALARM TIME ADJ     10SEC BZ
AUTO RESET         OFF
BRIGHT COMP        1 2 3 4
END                SET UP ENABLE
    
```

下方向スイッチを押す

```

** SET UP MENU **
CAMERA ID          1 2 3 4
                   1 CAMERA1F
AUDIO SELECT       1
TIMING SELECT      INT
SEQ TIME ADJ       FRAME
-----
ALARM REC MODE     FRAME
ALARM TIME ADJ     10SEC BZ
AUTO RESET         OFF
BRIGHT COMP        1 2 3 4
END                SET UP ENABLE
    
```

セットアップスイッチを押す

```

** SET UP MENU **
CAMERA ID          1 2 3 4
                   1 CAMERA1F
AUDIO SELECT       1
TIMING SELECT      INT
SEQ TIME ADJ       FRAME
-----
ALARM REC MODE     FRAME
ALARM TIME ADJ     10SEC BZ
AUTO RESET         OFF
BRIGHT COMP        1 2 3 4
END                SET UP ENABLE
    
```

文字設定終了後、セットアップスイッチを押す

```

** SET UP MENU **
CAMERA ID          1 2 3 4
                   1 CAMERA1F
AUDIO SELECT       1
TIMING SELECT      INT
SEQ TIME ADJ       FRAME
-----
ALARM REC MODE     FRAME
ALARM TIME ADJ     10SEC BZ
AUTO RESET         OFF
BRIGHT COMP        1 2 3 4
END                SET UP ENABLE
    
```

カメラIDの内容変更

カメラIDの内容変更は、2段目でを行います。
1段目で、設定するカメラを選択した後、下
方向スイッチ()で2段目に移ります。
セットアップスイッチを押します。カメラID
の内容を変更できます。

上方向スイッチ()、下方向スイッチ()で
文字を選択できます。

また、左方向スイッチ(◀)、右方向スイッチ
(▶)で文字の桁を変更できます。カメラIDで
使用できる文字は下表のとおりです。

下方向スイッチ()	上方向スイッチ()
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 : ; A B C	
D E F G H I J K L M N O P Q R	
S T U V W X Y Z アイウエオカキ	
クケコサシスセソタチツテトナニ	
ヌネノハヒフヘホマミムメモヤユ	
ヨラリルレロワランアイウエオツ	
ャ ュ ヨ ° ` " # ' () * + , - .	
/ = ・ (ブランク)	

文字の設定が終了したら、セットアップスイッ
チを押します。

カメラ音声の選択

カーソルを"AUDIO SELECT"の行に移動します。右(▶)または左方向(◀)スイッチを押す度に次のように設定内容を切換えることができます。

SEQ

画面に表示する映像の切換えと同期して音声を切換えることができます。切換えるタイミングや切換え時間は、“TIMING SELECT”や“SEQ TIME ADJ”の設定内容によって異なります。

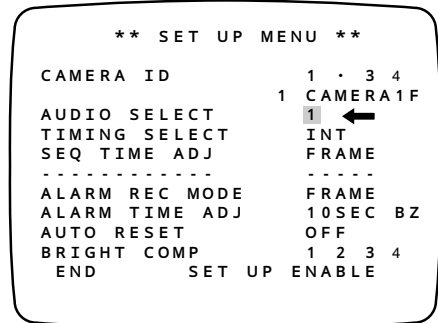
「切換えタイミングと切換え時間の設定」をお読みください。

- アラーム入力時にアラーム入力されたチャンネルの音声をVTRに録音できます。

チャンネル固定(1~4選択)

表示映像に関係なく常に設定したチャンネルの音声を出力できます。

- アラーム入力時にはアラームが入力された音声が出力されます。VTRにも同じ内容が録音されます。



切換えタイミングと切換え時間の設定

切換えタイミングを“TIMING SELECT”で設定した後、切換え時間を“SEQ TIME ADJ”で設定します。なお、切換え時間は“TIMING SELECT”で“INT”を選択したときにだけ設定できます。

1. 切換えタイミングを選択する

カーソルを“TIMING SELECT”の行に移動します。右(▶)または左方向(◀)スイッチを押す度に、次のように設定内容を切換えることができます。

●INT

本機の内部タイマーで切換えます。

“INT”を選択した場合“SEQ TIME ADJ”は次のように設定されます。

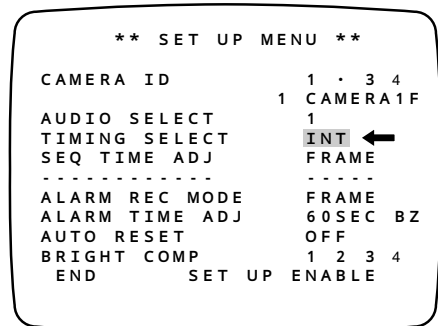
[出画切換]スイッチが[4画/単画]のとき：

FRAME

[出画切換]スイッチが[自動切換/VTR画]のとき：

切換時間

切換時間を変更するときは「2. 切換え時間を設定する(次ページ)」をお読みください。



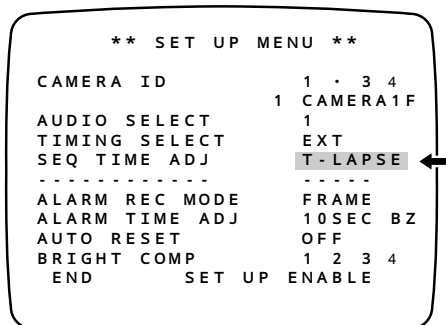
設定のしかた

設定手順

●EXT

タイムラプスVTRなどからの外部からの切換え信号で切り換えます。

"EXT"を選択すると "SEQ TIME ADJ"が自動的に"T-LAPSE"に設定されます。切換え時間はタイムラプスVTR側で変更してください(詳しくはお使いになるVTRの取扱説明書をお読みください)。



2.切換え時間を設定する

この操作は"TIMING SELECT"に"INT"を設定したときにだけ有効です。ここで設定した時間で映像と音声切り換えられます。

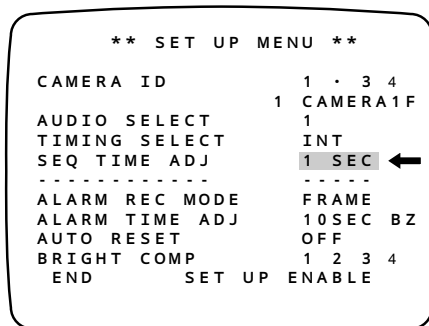
カーソルを "TIMING SELECT"の行に移動します。

[出画切換]スイッチを[自動切換/VTR画]にします。

"TIMING SELECT"に現在設定されている切換え時間が表示されます。

右(▶)または左方向(◀)スイッチを押して切換え時間を設定します。

切換え時間は、約1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 15, 20, 25, 30秒から選択できます。



重要

VTR録画時、切換タイミングが正しく設定されていないと正しく録画できません。

アラーム入力時の動作モードの設定

カーソルを"ALARM REC MODE"の行に移動します。

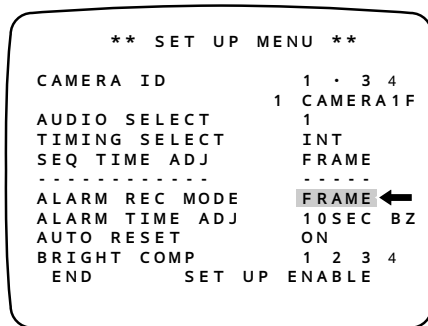
右(▶)または左方向(◀)スイッチを押してアラーム入力時の録画モードを次の2つから選択します。

●FRAME(フレーム切換え)

アラームが入力されたチャンネルの映像を優先して(フレーム数を増やして)録画します。

●SPOT(固定)

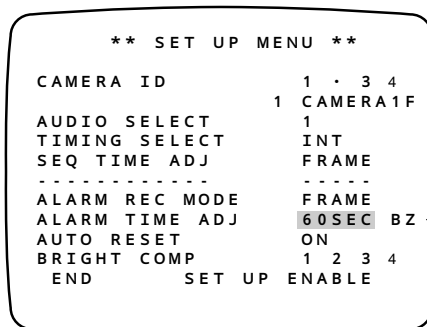
アラームが解除されるまでアラームが入力されたチャンネルを録画し続けます。



"AUTO RESET"を"ON"にするとアラームが入力されてから約60秒後にアラーム入力前の状態に自動復帰することができます。

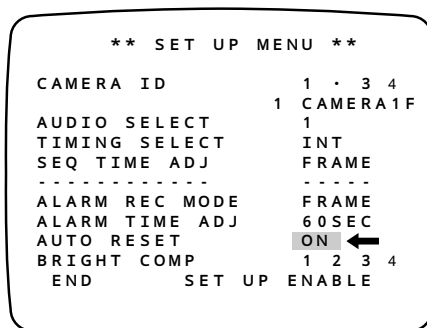
アラーム時間の選択 (ALARM TIME ADJ)

- カーソルを“ALARM TIME ADJ”の位置に移動し、左方向スイッチ(◀)と右方向スイッチ(▶)でアラームブザーの鳴る時間を選択します。
- アラーム時間は約1, 5, 10, 20, 30, 40, 50, 60秒から選択できます。
- セットアップスイッチで、アラームブザーのON (BZ表示)、OFF (表示なし)を切換えます。



自動復帰の入り/切り (AUTO RESET)

- カーソルを“AUTO RESET”の位置に移動し、左方向スイッチ(◀)と右方向スイッチ(▶)で入り(ON)、切り(OFF)を選択します。
- “ON”を選択すると、アラーム入力後約60秒でアラーム入力前の映像に復帰します。



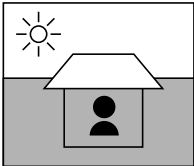
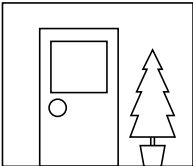
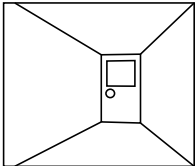
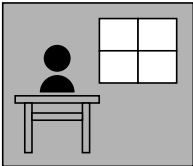
設定のしかた

設定手順

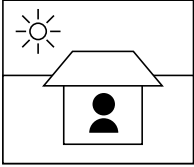
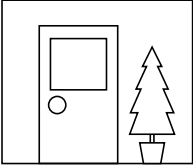
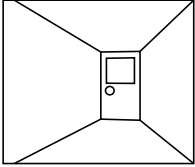
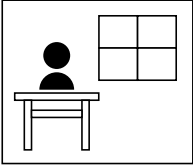
チャンネル別低輝度補償の設定(BRIGHT COMP)

自動切換時、チャンネルによって見やすい画面、見にくい画面がある場合、チャンネル別に低輝度部の輝度設定を変えることができます。

- カーソルを“ BRIGHT COMP ”の位置に移動し、左方向スイッチ(◀)と右方向スイッチ(▶)で設定するカメラを選びます。また、セットアップスイッチで、低輝度補償ON(カメラID1,2,3,4表示)、OFF(● : 表示)を切換えます。
- 自動切換え時、暗い画面があるチャンネルの低輝度部分(暗い画面)のみ輝度を上げることができます。明るい画面、暗い画面が混在している時、この機能により画面の明るさを最適化することができます。

1	2	3	4
			
暗い画面有	明るい	明るい	暗い画面有

```
  ** SET UP MENU **
CAMERA ID          1  ·  3  4
                   1  CAMERA1F
AUDIO SELECT       1
TIMING SELECT      INT
SEQ TIME ADJ       FRAME
-----
ALARM REC MODE     FRAME
ALARM TIME ADJ    60SEC BZ
AUTO RESET         ON
BRIGHT COMP       1  ·  ·  4  ←
END                SET UP ENABLE
```

1	2	3	4
			
“ BRIGH COMP ”ON	OFF	OFF	ON

重要

この機能は自動切換時の画面を見易くする為のものです。映像出力には、反映されません(低輝度補償OFFの映像が出力されています)。VTR等の再生画を確認するときは、前面の「明るさ調整ボリューム⑧」、「コントラスト調整ボリューム⑨」で調整してください。

別売品のご紹介

専用カラーテルックカメラWV-CP100
 WV-CP130
 WV-CF20
 WV-CF21
 WV-CF22
 WV-CF23
 カラーシステムカメラ〔多重VD(VD2)同期付〕 ...WV-CP410/414
 WV-CP610/614

故障と思われましたら

調べてもなお異常のあるときは電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。

症 状	調 べ る と こ ろ
映像が出ない。	<p>電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？ テレビカメラのレンズキャップをはずしていますか？ 同軸ケーブルは正しく接続されていますか？ 映像スタンバイスイッチがスタンバイになっていませんか？</p> <p>お願い：ビデオ受像機の電源が「入」のままテレビカメラを接続しても映りません。電源を「切」にしてから接続してください。 :電源を「切」にした後、再度電源を「入」にするときは、約3秒以上時間をおいてください。電源を「切」にした後すぐ「入」にするとカメラ映像が映らないことがあります。</p>
自動切換ができない。	<p>インターホン/センサー入力の接続は正しいですか？ 切換タイミングの設定/接続は正しいですか？設定メニュー/接続のしかたを確認してください。</p>
画面に黒い帯が出る	<p>垂直同期が合っていないためです。販売店に調整を依頼してください。 調整のしかた(販売店のかたへ)</p> <p>①〔出画切換〕スイッチを操作して四画面表示にします。一画面表示のまま調整すると、四画面にしたときに垂直同期がずれることがあります。 ②垂直同期ボリュームを時計方向または反時計方向に回します。黒い帯が消えるように調整してください。 ③黒い帯が完全に消えたら、垂直同期ボリュームを帯が消えた方向にさらに約10°回してください。</p>
初期設定 (VD 2 SET UP) が終了しない	<p>カラーテルックカメラまたはカラーシステムカメラ以外のカメラを接続していませんか？ 故障したカメラを接続していませんか？</p>



注意

本機の工事は、必ず販売店に依頼してください。
工事を始める前に、必ず2～6ページの「安全上のご注意」を読んでください。また、工事の場合は、必ず電源スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となります。

接続の前に

インターホンやセンサーあるいはアラーム（警報）機器を接続する前に必ずインターホンなどの動作電圧、ACかDC、極性を確認してください。（29～30ページ参照）

接続のしかた

カメラの接続

同軸ケーブルで接続します。

同軸ケーブル	最大ケーブル長
3C-2V	約200 m以下
5C-2V	約500 m以下

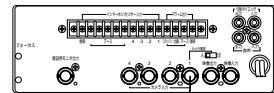
- 同軸ケーブルの抵抗値は、20 以下としてください。

テレビカメラ



同軸ケーブル

ビデオ受像機



カメラ入力 BNCプラグ
(カメラに付属)

カラーテルックカメラをカメラ入力1～4に接続します。

- カメラは必ずカメラ入力1から接続してください。
- カメラが接続されていないチャンネルの録画映像は黒画面になります。このテープを自動切換で再生表示すると、黒画面が挿入されたように見えます（故障ではありません）。
- カラーシステムカメラの電源はビデオ受像機の電源投入より前に入れてください。

重要

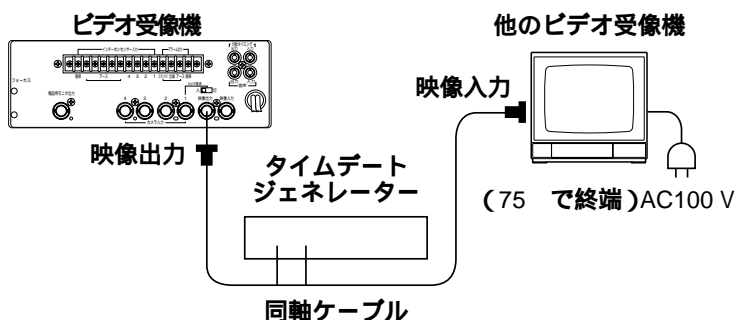
1. カメラを接続するときは必ずビデオ受像機の電源を切ってから接続してください。電源を入れたままカメラを接続しても誤接続保護回路が働いてカメラは動作しません。
2. カメラは専用カラーテルックカメラをお使いください。それ以外のカメラを接続しても正常には動作しません。
3. [カメラ電源]スイッチを「切」にすれば、カラーシステムカメラ〔多重VD (VD 2) 同期付〕を、カメラ入力1に接続できます。
4. フリッカレス機能付きカメラを使用するときは、必ずフリッカレスを「入」にしてください。

接続のしかた

増設のビデオ受像機の接続

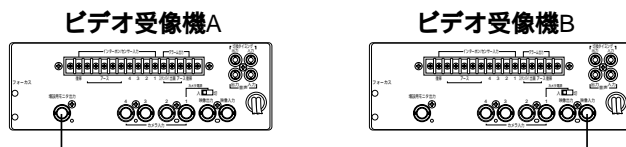
他の場所でモニターする場合

本機後面の〔映像出力〕端子と増設するビデオ受像器の映像入力端子とをBNCプラグ付き同軸ケーブルで接続します。タイムデートジェネレーターなどを途中に接続することもできます。ただし、四画面表示で映像を確認することはできません。



同じ映像を他の場所でモニタする場合

ビデオ受像器Aの〔増設モニタ出力〕端子とビデオ受像器Bの〔映像入力〕端子とをBNCプラグ付き同軸ケーブルで接続します。ビデオ受像器Aと同じ映像をビデオ受像器Bで見ることができます。



接続のしかた

VTRとの接続

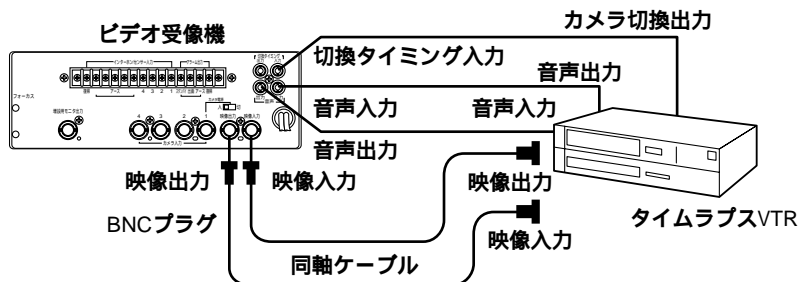
接続手順

- ①VTRの映像出力と本機後面の〔映像入力〕端子とをBNCプラグ付き同軸ケーブルで接続します。
- ②VTRの映像入力と本機後面の〔映像出力〕端子とをBNCプラグ付き同軸ケーブルで接続します。
- ③VTRのカメラ切換出力と本機後面の〔切換タイミング入力〕端子とをRCAピンプラグケーブルで接続します。**必ず接続してください。**
- ④VTRの音声出力と本機後面の〔音声入力〕端子、VTRの音声入力と本機後面の〔音声出力〕端子とをそれぞれRCAピンプラグケーブルで接続します。

推奨VTR

(松下電器産業(株)ビデオシステム(事)扱)

AG-6124
AG-RT600
AG-6730
AG-6740
AG-6760



重要

- 録画時に垂直ブランキング期間内にコードを付加するVTRは使用できません(録画したテープを再生することもできません)。特にVTR側でキャラクタ設定できる機種をお使いの場合、キャラクタは必ず、映像期間内に設定してください。垂直期間内に設定すると誤動作します。
- 設定メニューの設定方法について
 - ・録音したいチャンネルを固定したいときにだけ設定メニューの“AUDIO SELECT”を1~4(固定)に設定してください。ただし、アラームが入力されたときは、入力されたチャンネルの音声録音されます。
 - ・「タイムラプス」または「リニアスロー」モードで録画するときは、“TIMING SELECT”を“EXT”に設定してください。
 - ・「通常モード」で録画するときは、“TIMING SELECT”を“INT”に設定してください。
- VTR側のアラーム録画モードは2H(2時間モード)に設定してください。
- リニアスローモード(L12H,L18H,L24H)で録画したテープを再生すると画面にノイズや他のチャンネルの映像が入ることがあります。この場合、通常(2H/6H)やタイムラプスモードで再生してください。

VTRの設定について

次のように設定してください。詳しくはお使いになるVTRの取扱説明書をご覧ください。

(例1) AG-6730, 6740, 6760の場合

メニュー画面3

{ VIDEO }	IN	LINE
{ TIME ADJUSTING }	SET TIME OPERATION	9:00 MASTER

メニュー画面4

{ RESET PULSE }	INPUT LEVEL	HIGH
{ CAMERA SW }	TIMING MODE	1FIELD TM2

メニュー画面11

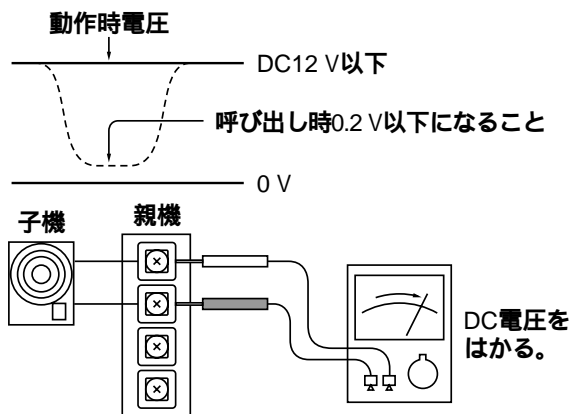
{ TIME CODE }	POSITION	10H,12H
---------------	----------	---------

インターホンやセンサーとの接続

インターホンやセンサーの条件

接続できるインターホンやセンサーには条件があります。

1. 動作電圧がDC12V以下であること。
(AC電源で動作するものは使えません。)
2. インターホンの子機やセンサーが動作したとき子機とのラインの電圧が0~0.2Vになること。
3. 2線式のものに限ります。
具体的には、子機との接続端子をテスターで測定して電圧、極性をたしかめてから接続してください。



推奨インターホン（松下通信工業(株)AVシステム事業部扱）

方式	子機	親機
ブレストーク式	VN-580A、588	VN-483A、485、482A
同時通話式	VL-568、568D	VL-467LK、468L その他電子チャイミーシリーズ 1-1タイプのみ
拡声形同時通話式	VK-507D	VK-411A、VK-413A

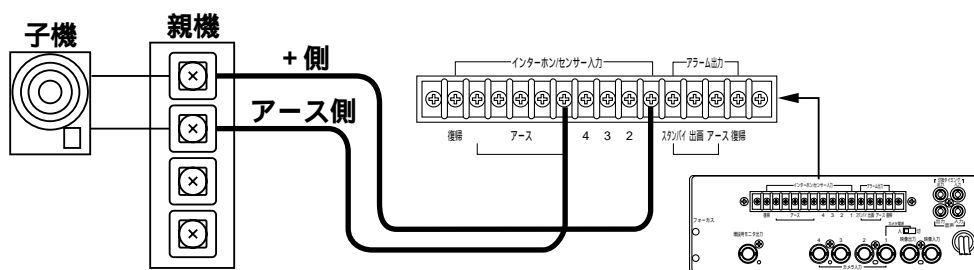
チャイム（松下電工製）

DCチャイムシリーズ
EB147シリーズ
EB157シリーズ

防犯ドアスイッチ
(松下電工製)

防犯ドアスイッチON
形シリーズ

接続のしかた



インターホンの親機とビデオ受像機間の接続は必ず極性を確かめてから行ってください。

接続のしかた

アラーム接続

本機には条件によって2つのアラーム出力端子があります。

1. 映像スタンバイ時に外部から信号が入ったとき動作する端子(スタンバイ)
2. 映像スタンバイ時、出画にかかわらず、外部から信号が入ったとき動作する端子(スタンバイ出画)

推奨チャイム(松下電工製)

電子チャイム

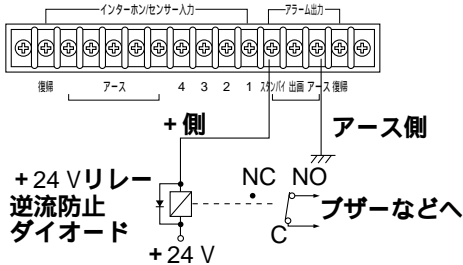
メロディサインEC5117(メロディ)

メロディサインEC5227(メロディ、
ピンポン)

メロディサインEC5347(メロディ、ピンポン、ファミリー)

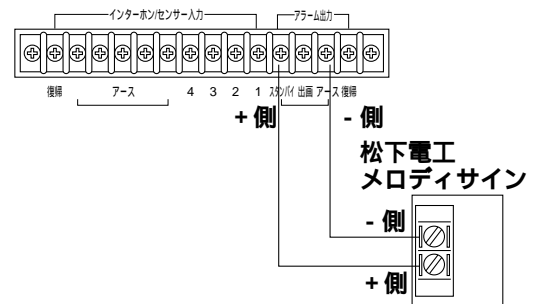
接続は下記のようにしてください。アラーム出力にも極性があります。極性を確認してください。アラーム出力の接点容量はDC24 V 100 mA以下です。

直接動作させられないとき
(動作が接点容量をこえるとき)



ブザーなどの起動スイッチに流れる電流がDC24 V、100 mAを超える場合はアラーム出力端子で直接動作させることはできません。リレーなどを使ってブザーを鳴らしてください。

直接動作させるとき
(接点容量内で動作するとき)



自動復帰について

本機にはインターホンやセンサーを入力後約60秒後で自動復帰する回路が内蔵されています。

設定メニューの自動復帰入り/切り(AUTO RESET)を入り(ON)にします。

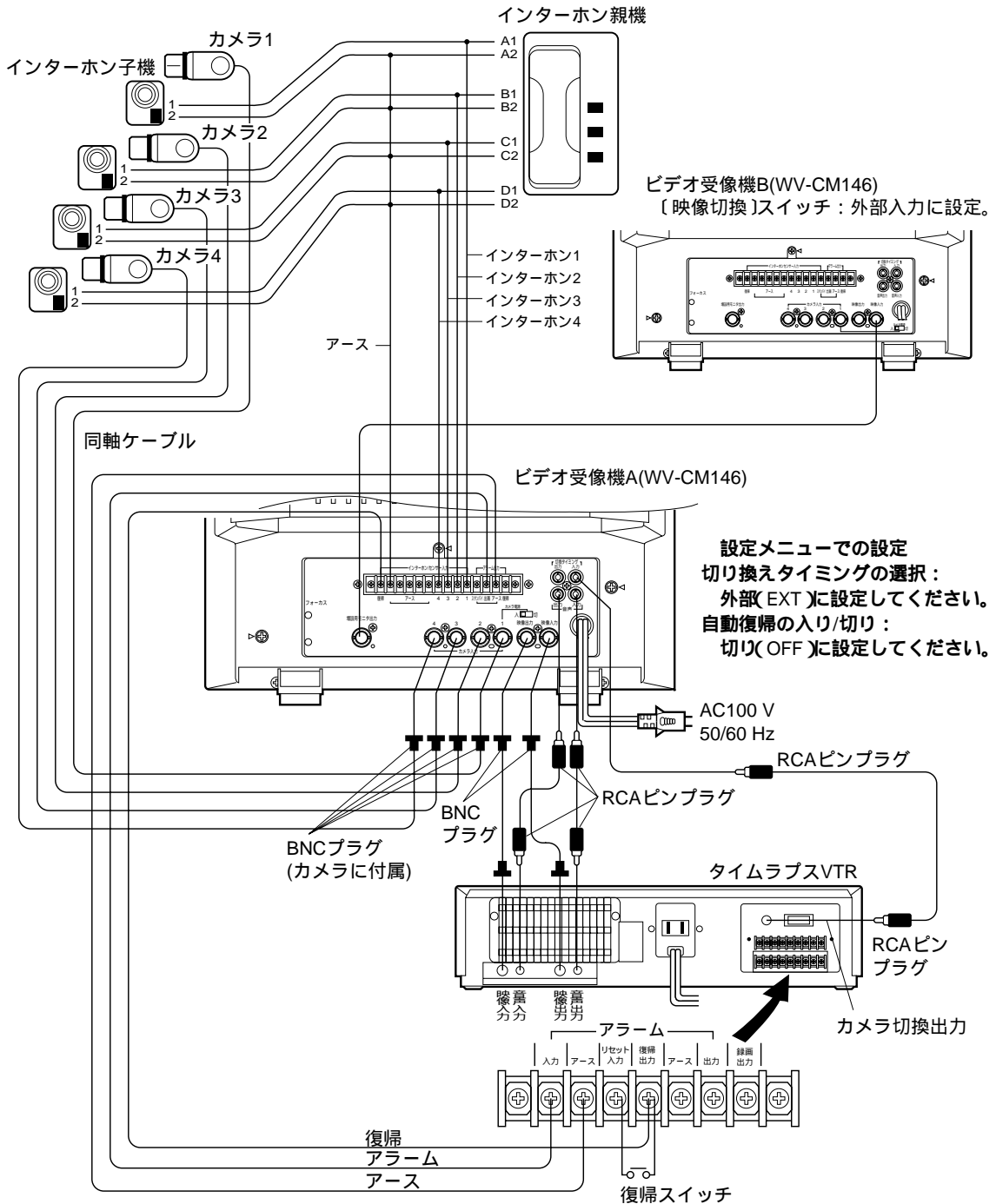
各入力での自動復帰の動作は次のようになります。

1. センサー使用のとき
 - ➡センサー入力によりカメラ選択し、約60秒後に自動切換に復帰します。
2. インターホン使用のとき
 - a. 通話中のとき
 - ➡インターホン入力によりカメラ選択し、通話中は保持され続けます。また通話を終了し受話器を置くと同時に自動切換に復帰します。
 - b. 呼び出し動作のみのとき
 - ➡インターホン入力によりカメラ選択し、約60秒後に自動切換に復帰します。
3. タイムラプSVTRの使用のとき
 - ➡インターホン/センサー入力によりカメラ選択し、約60秒後に自動切換に復帰します。

タイムラプSVTRからの復帰信号で自動切換に復帰したいときは、タイムラプSVTRの復帰出力と本機の〔復帰入力〕端子とを接続してください(次ページの接続例をご覧ください)。この場合、設定メニューの“AUTO RESET”の設定内容は無効になります。

システム接続例

タイムラプスVTR/増設モニタと組み合わせる場合



重要

1. タイムラプスVTRと組み合わせ、さらに外部ブザーなどのアラーム出力を出すときは、タイムラプスVTRのアラーム出力を使用してください。
くわしくは、タイムラプスVTRの取扱説明書を参照ください。
2. タイムラプスVTRの録音については記録不可能な場合があります。くわしくは、タイムラプスVTRの取扱説明書を参照ください。

定格

電 源 : AC100 V 50/60 Hz
消 費 電 力 : 約99 W (カメラ4台使用時)
C R T : 90° 偏向 14形対角
画 面 サ イ ズ : 280.8(H) × 210.6(V) mm
カ メ ラ 入 力 *1 : VS1.0 V[p-p]/75 × 4 (BNC接栓)
 カメラ入力1: カラーテルックカメラまたは多重
 VD(VD2)同期付きカメラ*2
 カメラ入力2~4: カラーテルックカメラ専用
映 像 入 力 : VS1.0 V[p-p]/75 × 1 (BNC接栓)
映 像 出 力 : VS1.0 V[p-p]/75 × 1 (BNC接栓)
カメラ電源供給方式: 定電流重畳伝送方式
映 像 切 換 : 自動/手動切換
自 動 切 換 時 間 : フレーム, 約1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9,
 10, 15, 20, 25, 30秒(設定メニュー
 で選択可能)
画 面 表 示 : 自動切換画/VTR画, 四画/単画
スキップ機能: オートスキップ
自 動 復 帰 機 能 : センサー入力後約60秒で自動切換に復帰
 (設定メニューで自動復帰ON/OFF選択可能)
解 像 度 : 370本以上 (水平、中心部にて)
偏 向 直 線 性
 水平 : 5 % 以下
 垂直 : 5 % 以下
偏 向 ひ ず み : 2 % 以下

水平走査周波数 : 15.734 kHz
垂直走査周波数 : 59.94 Hz
音 声 入 力 : - 8 dB/Hi-Z (ピンジャック)
音 声 出 力 : - 10 dB/100 (ピンジャック)
ス ピ ー カ 出 力 : 1.0 W
インターホン/センサー入力 : 4回路 (1回路/1カメラ)
 無電圧メイク接点 (DC12 V未満)
ア ラ ー ム 出 力
 スタンバイ出画時出力: 1回路 オープンコレクタ(DC24 V 100 mA未満)
 スタンバイ時出力: 1回路 オープンコレクタ(DC24 V 100 mA未満)
ア ラ ー ム 時 間 : 約1, 5, 10, 20, 30, 40, 50, 60秒
 (設定メニューで選択可能)
カメラケーブル長 : 最大約500 m (5C-2V使用時)
周 囲 温 度 : - 10 ~ + 50
寸 法 : 370(幅) × 354(高さ) × 389(奥行) mm
質 量 (重 量) : 約12 kg
仕 上 げ
 エスカッション: AVアイボリー色樹脂製
 (マンセル7.9Y6.8/0.8近似色)
カ バ ー : AVアイボリー色樹脂製
 (マンセル7.9Y6.8/0.8近似色)

*1 カメラ入力に専用カメラ以外を接続すると、一部機能が正常に動作しません。

*2 多重VD(VD2)同期付きカメラは、カメラ電源スイッチを「切」にしたときだけ接続できます。

A series of horizontal dashed lines for writing notes.

A series of horizontal dashed lines for writing notes.

A series of horizontal dashed lines for writing notes.

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は...

まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理窓口」へ！

保証書(別添付)

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間

修理を依頼される時

25ページの内容に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- 保証期間中は保証書の規定に従って、出張修理させていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは、修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

お 買 っ 上 げ 年 月 日	年 月 日	品 番 WV-CM146
販 売 店 名		電 話 () -

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 AVシステム事業部

〒224 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎ (045)932-1231(大代表)